

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

水源の杜の家

グループの名称

水源の杜の家

直近採択グループ番号

06-0223-0703

(グループ代表者)

代表者名

日野 豊和

代表者印

代表者所属先

ユタカホーム有限会社

代表者所在地

福岡県朝倉市杷木池田10番地

代表者電話番号

0946-62-1257

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社アサモク

事務局担当者名

多田 啓

印

事務局郵便番号

838-0813

事務局所在地

福岡県朝倉郡筑前町依井1066番地の8

事務局電話番号

0946-24-6111

事務局FAX

0946-22-6825

事務局担当者E-mail

kei-tada@asamoku.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸		
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
			高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
							上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸	
						その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸	
						加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸	
							上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸	
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積		7	棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		370	m <sup>2</sup>				
				棟	m <sup>2</sup>				
E. 平成29年度の執行状況(必須)	最低戸数一戸を各住宅事業者確保の上、くじ引きなどの抽選にて配分を実施。仮に戸数が住宅事業者より少ない場合には最初からくじ引きなどの抽選にて配分を実施する。抽選方法は住宅事業者が納得できる内容とする。								
	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	優良建築物型								
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 水源の杜の家	(地域型住宅供給対象地域) 北部九州
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 水源の杜の家	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0223-0703	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・温暖な印象のある北部九州であるが、冬季の寒さは厳しいため断熱性能を重視し、建築物省エネ法基準の断熱性能以上とする。 ・台風通過のため、劣化対策を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・建築する地域の風土で育った杉とヒノキで梁、桁を含めた構造材には九州産出材を100%使用する。プレカット、手刻みを含んだ地域に根差した在来軸組工法で地場建設会社、工務店が日々地域で伝えられた施工様式をとる。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・地域材に関心を持ってもらえるように、梁や桁、などの木構造材が見えるデザインとする。(非住宅は除く) 火気使用室では建築基準法の制限を優先する。	○
④①～③の背景	・国の有形文化財に登録された住宅(筑前町多田邸)を地域型住宅のモデルとしている。特徴は、大型の梁、桁見せで木構造材の力強さを出している。また定期的な手入れや通風、季節による建具の模様替えなど、自然と共生したライフスタイルを示している。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・当団体は、地域資源の循環にこだわり、木材を始めとした農林水産物の地産地消を旨とする事業者で構成される。今後、これら事業者に対し、省エネルギー化などの新技術や情報を提供・支援することを目標としている。 ・地中熱を利用した省エネルギー熱交換システムの提案も行う。(非住宅は除く)	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台は105mm角以上、柱は105mm角以上を使用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 高性能断熱材と省エネ設備機器を中心に推奨品の選定を行う。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 在来軸組工法を基本として通気工法を採用する。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 複数の物件分を同時に購入する事で、コストダウンを行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: モデルプランの共同化で、資材数を削減し、申請書類作成等の合理化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 省エネとコストダウンを中心とした検討会を実施。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 定期的な連絡会と勉強会等の実施で、情報発信を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅金融支援機構のフラット35設計施工基準を活用する	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 完成引渡し前に施主と共に検査確認を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 省エネ機器や水廻り関連、サッシ等のプランボードを施主に提出することでイメージを容易にし、定価表示可能な商材は必ず提示する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局のモデルルーム(東屋)などで構造材の説明や木材利用の意義の啓発を実施する。(非住宅は除く)	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局で年間労働日カレンダーを作成し、施工構成員に配布することで、意識向上を図る。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 建設キャリアアップ制度を研究し、構成員に周知する。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局で施工構成員の社会保険加入状況をアンケート調査する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 健康診断を受診できる地域の機関一覧を配布する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	該当ありません	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 水源の杜の家	(地域型住宅供給対象地域) 北部九州	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 水源の杜の家	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0223-0703		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報管理は書面保管も認めるが、データ管理を基本とする。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今後の補修・点検状況を住宅履歴情報機関に登録する事で、資産価値を維持する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局、施主、施工者が共通IDにより確認できる。書面管理の場合は施工者が事務局に申告する。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に1回の訪問点検の実施で記録簿を作成する。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検・補修を行った時は、履歴情報に工事内容を登録する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: アラーム機能を利用して点検時期を告知。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で企画する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会、連絡会の実施。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 展示会、イベントで「住まいの相談会」を実施する。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が維持管理委員会を代行する。	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検と臨時点検により補修及び修繕の必要性を判断する。	◎	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が代替履行できる構成員を斡旋する。	◎
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵事故の大半を占める雨水侵入について、瑕疵保険会社の講習会を行う	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局は消費者の総合的な相談窓口となる。	◎
	エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補助対象現場を利用した施工構成員向けの見学会を行う。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高度省エネ型につき、劣化対策等級2相当以上とする。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で基礎高の寸法を確認する。	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験構成員向けの講習などを実施。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 3	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0			
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で未受講者を把握して講習会開催予定表を該当者に通知する。		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地中熱利用の換システム導入で、更なる省エネ住宅を提案する。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	該当ありません		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 水源の杜の家	(地域型住宅供給対象地域) 北部九州												
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 水源の杜の家	(結成年) 2015 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0223-0703													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール (必須)	★土台: 合法木材証明制度 (国内) の桧 ★柱・梁・桁: 合法木材証明制度 (国内) の杉又は桧												
②	地域材利用の1棟当たりの割合 (必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使用部位 (必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>※この図は代表的なフロー図の為例外的に異なる場合がある</p> <p>【グループの取組に関する補足説明】 水源の杜の家グループでは国産材＝合法木材国内の普及促進活動に努めるために地域材の括りを国産材に絞り信頼の家づくりを推奨するために乾燥材使用とします。また地産地消を推奨するため九州杉・九州桧の地域材とします。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木材流通と協力して把握している。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木材流通と協力して在庫価格の情報を得ている。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 需給変化の多い国産材について予測を施工構成員に通知している。												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域振興のため貝殻漆喰を推奨している。												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 化粧梁、化粧桁を多用し、木材の露出を増やす。												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 山林を通じた環境問題に関心を持ってもらう取組みを実施する。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	該当ありません												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	該当ありません													
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本県産材利用を増やし復興に貢献する。	◎												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 水源の杜の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 北部九州
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 水源の杜の家	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0223-0703	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p><b>【共通特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梁・桁を含む構造用木材は、全て九州材とする。</li> <li>・水源の杜のイメージとして、浄水器もしくは相当の軟水器の設置。</li> <li>・高性能断熱材・高性能サッシの標準化。</li> <li>・節水型設備機器の採用は前提として高効率給湯器(エコキュート)の標準化。</li> <li>・省エネ空調設備・LED照明の推奨。</li> <li>・オプションとして、地中熱を利用した熱交換システム(ジオパワーシステム)の導入。</li> <li>・再生可能エネルギー(太陽光発電)とHEMSの推奨。</li> </ul> <p>(非住宅は除く)</p> <p><b>【ゼロエネルギー住宅の特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BELS認証の活用</li> </ul>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。